

[Ecology Miyazaki 2020 SPRING]

ecoみやざき

環境ひむか

No. 107

2020 春号

みやざきの森林を守る

環境
保全

自然
保護

日南市・大島周辺海域

オニヒトデの大発生でサンゴが危機に。
サンゴを守り、宮崎の海を守る活動を

三ツ岩オビスギ遺伝資源 希少個体群保護林
(日南市 北郷町)

みやぎの森林を守ろう

宮崎県は県土の76%を森林が覆う緑豊かな土地。私たちの暮らしを潤す自然のめぐみは、この森林からもたらされています。



森林は生活を支える 守り神

豊かな森林のおかげで、宮崎県では古くから林業が盛んです。また森林が緑のダム^①の役割を果たして町を守り、蓄えられた清らかな水は生活や産業を支えてきました。

スギの生産量は日本一！

宮崎県のスギの多くはオビスギで、400年ほど前に飢肥藩が植林したのが始まりと言われています。

温暖な気候と土壌がスギの生育に適しており28年連続でスギ素材生産量日本一です。日光をたっぷり浴びて育った県産のスギは油分を多く含むため、水をよくはじき、虫に強く、弾力性に富んでいるという特徴をもっています。そのため加工しやすく、建築資材や生活素材に最適です。

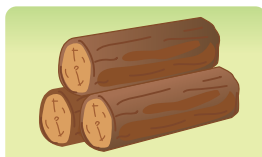


さまざまな森林のはたらき

森林は、私たちの生活に、たくさんの恩恵を与えてくれています。

木材等の生産

木材は建築資材として環境にやさしいだけでなく、きのこなどの栽培にも利用されます。



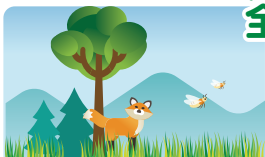
水源の涵養

雨水を蓄えて洪水を起りにくくしたり、川の水量を調整したりして、水害を防いでいます。



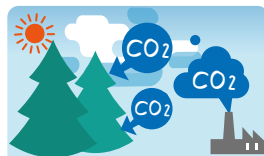
生物多様性の保全

さまざまな野生動物の生息地となる森林は、多くの命を育み、生態系を保全しています。



地球温暖化の防止

地球温暖化の原因となる二酸化炭素を取り込んで樹木内に蓄え、酸素を放出するという大事な役目を担っています。



国土の保全

しっかりと根をはる木々は雨で山肌の土砂が流れるのを防ぎ、土砂崩れを予防しています。



保健・

レクリエーションの場

ハイキングやキャンプなどレジャーやスポーツの場を提供しています。



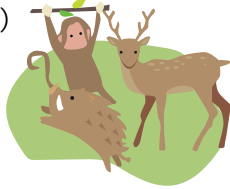
森林・林業を取り巻く環境の変化

木材価格がピーク時の1/3に低下

- 1㎡あたりの木材価格
スギ中丸太 36,900円(1980年)→**14,200円**(2018年)
ヒノキ中丸太 58,300円(1980年)→**17,500円**(2018年)

止まらない担い手の減少と高齢化

- 宮崎県の林業就業者の数
7,503人(1980年)→**2,222人**(2015年)
- 宮崎県の林業就業者の65歳以上の割合
4.5%(1980年)→**22.7%**(2015年)



野生鳥獣による被害が増加

イノシシやシカ、サルなどの野生鳥獣の食害などによって荒れる森林が増加しています。

いま宮崎の森林が大ピンチ
みんなので守ろう！
みんなの森林



めぐみの宝庫である森林が、いま危機にさらされています。その理由は、国産材の価格低下や山村地域の人口減少が重なって、林業の担い手が少なくなったからです。そのため間伐などの手入れができず、このままでは森林本来のはたらきが損なわれるおそれもあるのです。

そこで県では「宮崎県水と緑の森林づくり条例」を制定。県民の手で森林を守る活動が進められています。

4つの柱で豊かな森林づくりを進めています

県では、森林を健全な姿で次世代に引き継ぐため、4つの柱による森林づくりに取り組んでいます。

1 県民の理解と参画による森林づくり

- ボランティア団体や企業などによる森林づくり活動を推進
- 森林のはたらきなどをPR



2 公益的機能を重視した森林づくり

- 災害防止など、いろいろな機能を持った森林づくり
- 多くの動植物が喜ぶ森林の保護や保全



3 資源の循環利用による森林づくり

- 苗木の増産
- 再造林の支援



4 森林を守り育て次代の人づくり

- 森林環境教育の推進
- 地域で行う木育活動の支援



私もあなたも
森林サポーター

県民の財産である森林を守り、次代に引継ぐ仕組みづくりとして導入されているのが、「森林環境税」です。いわば私たちは、森林づくりのサポーターです。災害に強い森林をつくり、森林のめぐみを未来につなげるため、計画的な活動が続けられています。

宮崎県森林環境税とは

県民で森林を守る仕組みとして県民税均等割の納税義務がある人には年額500円を課しています。

Topics トピックス



×1,400個

ヤフオク！ドーム

森林環境税を活用して整備や保全が行われた森林は、平成28年度までに約9,750ha（福岡ヤフオク！ドーム約1,400個分）にのぼります。

「木づかい」と「木育」で木のぬくもりを日常に

「木づかい」や「木育」という取組が全国に広がっています。これは、国産材の製品を使うことから森林や環境を考えようというもの。県でもイベントを展開して、木の魅力を伝えています。



プレイゾーンやゲームを通して子どもたちが木と親しめるイベントを展開しています。



県内の木育に興味のある方を対象に、研修会を開催しています。



県産材を活用した施設



県産材の利用は、県内の公共施設でも積極的に進められています。その魅力を、ぜひ現地で体感してみてください。

日南市

子育て支援センター「ことこと」

内装からおもちゃまでオビスギが使われています。ままごと遊びのピーマンや釣り遊びのイセエビなど、県の特産品をオビスギで表現するアイデアもユニーク。木を通して五感が刺激されるような工夫に満ちています。1万個のスギだまプールには、地域の有志が手磨きしたスギだまもあり、人と木とのつながりを広げる提案もされています。木育ワークショップも定期開催。0歳児から小学生の親子が利用でき、市外からの利用者も増えています。

〒 日南市岩崎三丁目4番
1-1号Ittenほりかわ1F
☎ 0987-27-3808
開 9:00～19:00
休 水曜定休(祝日は開館・翌平日休) 料 入場無料



都城市

都城市立図書館

館内の雰囲気づくりに大きく貢献しているのが、県産のクスノキで作られた箱型の書架です。800個におよぶ木箱架は可動式で、防虫効果もあり、本の保管や展示に最適。この木箱架を重ねたり並べたりしながらテーマに応じて変化する空間は、ウインドウショッピングをしているようなワクワク感があると好評です。個性的な展示のおかげで本が魅力的に見えるとの声も多く、県産材が本との距離を縮める役割を担っているようです。

〒 都城市中町16街区15号
☎ 0986-22-0239
開 9:00-21:00
休 定期休館なし(保守点検・図書整理等に伴う臨時休館あり)



Topics トピックス

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にも県産材が活用されます

日南市のオビスギを使って、選手村の代表的施設ビレッジプラザが建築されています。世界のアスリートが集う場でも県産材は大活躍。大会終了後にはこの木材が日南市に返却され、レガシーとして地域で活用される予定です。



注目!

日南にミステリーサークル出現!

森林に現れた2つの巨大模様。実はこれ、スギの成長や強度を調べるために作られた日南市北郷町郷之原の試験林。1973年に設定された全国的にも珍しい場所なのです。この景色は上空からしか確認できませんが、猪八重溪谷から2キロほどの距離にあり、散策を楽しむことができます。



環境みやざき推進協議会だより



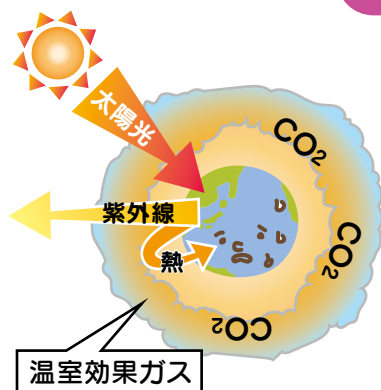
第23回クリーンアップ宮崎が実施されました。

今回は、令和元年11月10日（日）を中心に（各市町村等にて選定）多数の県民の皆様のご協力により、県民総ぐるみの環境美化活動が全県下で行われました。

この活動は、県民が一丸となり各市町村等が選定する公園・海岸・道路等で一斉に環境美化活動を展開することにより、環境保全や自然保護に対する県民意識を高め、美しく自然と共生した環境にやさしい社会づくりを推進するものです。



パリ協定をご存知ですか？



パリ協定とは、2020年以降の気候変動問題に関する国際的な枠組みであり、1997年に定められた「京都議定書」の後継となるものです。

京都議定書では、排出量削減の法的義務は先進国にのみ課せられていましたが、パリ協定は、途上国を含む全ての参加国と地域に排出削減の努力を求めています。

それだけ世界各国の地球温暖化に対する関心が高まっているといえます。

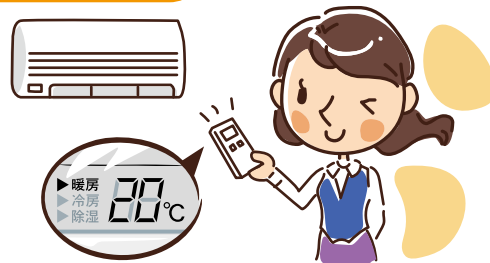


2月は省エネルギー月間です。

冬季は暖房の使用などによってエネルギーの消費が増える季節です。

地球環境問題への対応のために、一人ひとりが毎日のくらしの中で省エネルギーを実践することが大切です。

今年の省エネルギー月間をきっかけに、ご家庭や学校、職場で出来ることから取り組んでみてはいかがでしょうか？



環境みやざき推進協議会の案内

環境みやざき推進協議会は、県民、事業者、行政等が協働して宮崎県域における地球温暖化防止等に関する様々な取組を推進しています。

活動に御賛同いただける方の入会をお待ちしております。

会費無料

会員募集中

環境みやざき推進協議会事務局

TEL:0985-51-2077 FAX:0985-51-2086

E-mail:koueki@miyazaki-kankyo.or.jp

日南市・大島周辺海域

オニヒトデの大発生でサンゴが危機に。
サンゴを守り、宮崎の海を守る活動を

日南市の大島周辺に大発生しているオニヒトデ。サンゴを食べるオニヒトデからサンゴを守るために必要なことは？



サンゴに付着しているオニヒトデをカギで引っ掛けている様子。大きなサンゴが守られた瞬間

オニヒトデは
サンゴが大好物

「宮崎の海で特にサンゴが見られるのは串間市沿岸、日南市大島周辺、延岡市島野浦島周辺になります。適度な水温(冬の平均水温が約18度以上ぐらい)、台風の接近が少ないなど、サンゴに適した条件が揃っているからです。日南の大島周辺には約100種前後のサンゴが生息しているんですよ。」と語るのは宮崎大学農学部海洋生物環境学科教授の深見裕伸さん。

ところが近年、このサンゴに異変が起こり始めています。オニヒトデの大発生によりサンゴが食べられ、数十年かけて育った美しいサンゴが姿を消し始めているのです。オニヒ



▲サンゴを食べているオニヒトデの口。

▶全身棘だらけ。手で触れることはできない。



▲手前に写っているのがオニヒトデ。食べた後は白くなっている。

トデは、多数の腕を持ち、体全体が鋭い棘で覆われ猛毒を持つています。棘に刺されると激しい痛みや腫れが生じ、ひどい時には呼吸困難などの激しい症状を起こすほどです。オニヒトデはサンゴに付着し、自分の胃を体の下側にある口から外に出し、サンゴを直接消化吸収していきます。食べながら移動をし、食べられたサンゴは白くなって死んでしまうのです。

オニヒトデは2011年に串間市沿岸で大発生しましたが、このことがきっかけで串間市沿岸に九州最大規模のサンゴの群落発見に至りました。オニヒトデはサンゴが大好物で、サンゴがないところでは生きていけない生き物です。サンゴが全滅するとオニヒトデも死んでしまいます。

自然保護推進員

私の自然保護活動



くし ま のり ゆき
串間 研之 さん

細田干潟(日南市)の学習を通し ふるさとの自然に親しむ

日南市立細田中学校校長の串間さん。串間さんは平成30年に同校に赴任、豊かな自然の中にある学校だからこそ「自然から学ぶ力」を生徒たちにつけさせたいと考えました。細田地区で代表する自然はどこかと探していると、近くの川で干潮時に「干潟」が現れ、そこにはシオマネキも生息していることを知りました。「生徒たちには科学することを知ってほしい。校区内に絶滅危惧種が存在する干潟があるとは、絶好の学びの場だと思いました。」と串間さん。

生徒たちは自由研究の時間を利用して、現場に行って観察し、研究を進めました。仮説を立て、それぞれが方法を考え検証し、結果を導いていきます。その結果、シオマネキの巣穴の深部のドロにはプランクトンが発生しやすいこと、潮の干満でそのドロは攪拌され酸素やプランクトンが広がっていくこと、そして河口付近まで広がっていくと魚も増え、海が豊かになることなどを学習しました。「学んだことは将来や地域につなげていってほしい。」と串間さんは語ります。



◀現地での観察をしました。



▶絶滅危惧種のシオマネキ。身近な所に実はこんな生き物が!

▶大量のオニヒトデを捕獲。しかし、これも氷山の一角。
▼駆除活動に取り組んでいる協議会の皆さん。中央が福田さん。



続けられる地道な 捕獲活動

「日南市大島の海は透明度も高くサンゴが多く美しい海です。しかしオニヒトデの大発生により、サンゴの6割位は食べられ、食べられた後は白く無残な姿になっています。潜ってみるとサンゴの減少を実感しますよ。」と語るのは日南海岸サンゴ群集保全協議会の福田道喜さん。協議会は宮崎県、串間市、日南市、漁協、ダイビング協会、宮崎大学などが参加し2013年に発足、サンゴの保全と活用を議論・実行する場

として活動しています。「オニヒトデは今駆除しておかないと、幼生をばらまきながら北上し、どんどん広がっていきます。サンゴは、海のアシスと呼ばれています。サンゴがいることで、周辺海域の生物が多様になり、観光はもちろん、漁業にとっても重要であることが分かっています。サンゴの働きを考えるとオニヒトデの駆除はやむを得ないことだと考えます。」と深見さん。協議会では月に1回程度海に入り、オニヒトデの駆除を行っています。オニヒトデは水深5〜15メートルあたりにいるサンゴの裏側や隙間に入り込んでいるため、見つけにくく、棘で覆われた体は長いカギでなければさわる事ができません。注意を払いながら、カギの先に引っ掛

けて捕獲用の網に入れ海上に持ち帰るといのが駆除の方法です。大きなもので直径が40センチほどのものもとれます。取材の日は、9名のダイバーで約1時間程度潜り、なんと43匹を捕獲しました。「地道な作業ですが、やっていかなければサンゴは減っていきます。海を守るために続けていきますよ。」と福田さん。協議会では海の実しさや現状を広く知ってもらうために、シンポジウムや写真展なども行っています。また、ダイビングライセンスをお持ちの方で、サンゴの保全等に興味がある方は、協議会の活動に参加もできます。

写真提供
福田道喜(グリートダイバーズ)
☎0985(29)4288

インフォメーションスクエア



イベント名	日時	内容	場所	お問い合わせ・お申込み
しいたけ作り体験	2月15日(出)	募集:50名 参加費:300円(原木1本)※一人3本まで	宮崎県ひなもり台 県民ふれあいの森 (小林市)	ひなもりオートキャンプ場 ☎0984・23・8100 ※実施日より約1ヶ月前から受付開始
春!アウトドアライフ in ひなもり~山菜教室~	3月28日(出)、 29日(日)	募集:100名 参加費:要問合せ(利用料実費、材料費実費)	ひなもり オートキャンプ場 (小林市)	
しいたけ栽培体験教室	2月16日(日)	定員:50家族 参加費:材料代1,500円、昼食代500円	宮崎県林業技術センター「森とのふれあいの施設」 (美郷町)	森の科学館 (宮崎県林業技術センター内) ☎0982・66・2004 ※実施日より約1ヶ月前から受付開始
桜の鑑賞会	3月29日(日)	定員:小学生以上50名 参加費:無料、予約不可		
シイタケ駒打ち体験教室	2月16日(日)	シイタケについて学び、シイタケ種ごま打ちの体験をすることにより、森の恵みに理解を深めます。 定員:40名 参加費:無料	川南遊学の森 (川南町)	(公社)宮崎県緑化推進機構 ☎0985・31・7759 ※実施日より約2ヶ月前から受付開始
山菜教室	3月29日(日)	遊学の森内を散策し、自生している山野菜を観察・採取し、試食することにより森の恵みに理解を深めます。 定員:30名 参加費:無料		
県産材積み木で遊ぼう!	~3月25日(水)	参加費:無料		
飼育・観察教室 水辺の生き物観察会	2月23日(祝) 10:00~11:30	定員:小学生以上20組 参加費:無料	大淀川学習館 (宮崎市)	公益財団法人宮崎文化振興協会 大淀川学習館 ☎0985・20・5685 ※実施日より2ヶ月前から14日前まで受付 ◎申込み方法は、ホームページで確認を
活動教室 シイタケの種駒打ちをしよう	3月1日(日) 10:00~11:30	定員:20組 参加費:500円		
すまいる家族大集合2	2月11日(祝)	ファミリーキャンプで家族の絆を深めましょう! *日帰りです 参加人数:家族15組 参加費:高校生以上590円、小学生580円、未就学児450円、3歳未満20円 活動費:1家族400円	宮崎県むかばき 青少年自然の家 (延岡市)	宮崎県むかばき 青少年自然の家 ☎0982・38・0272
きらきらナイト1・2	2月22日(出)・ 29日(出)	天体ドームや望遠鏡を用いての星空観察です。惑星や星座など冬の星空を楽しみましょう。 参加人数:大人・子ども50名 参加費:一人20円		
わくわく自然の家まつり	2月23日(祝) 10:00~15:00	参加費:無料	宮崎県青島青少年自然の家 (宮崎市)	宮崎県青島青少年自然の家 ☎0985-58-1711
みいけ桜ウィーク	3月下旬(予定)	施設内の桜を鑑賞 参加費:無料	宮崎県御池青少年自然の家 (都城市)	宮崎県御池青少年自然の家 ☎0986-33-1414

県の環境教育関係窓口のご案内 (相談窓口)

環境分野担当窓口	課・担当	電話番号 (直通)
環境全般	環境情報センター	☎0985-23-0322
地球温暖化 省エネルギー・ 新エネルギーなど	環境森林課 温暖化・新エネルギー対策担当	☎0985-26-7084
森林環境教育	環境森林課 豊かな森林づくり担当	☎0985-26-7153
ごみ減量 リサイクルなど	循環社会推進課 企画・リサイクル担当	☎0985-26-7081
水環境保全	環境管理課 水保全対策担当	☎0985-26-7085
野生動植物、 自然保護など	自然環境課 野生生物担当	☎0985-26-7291

宮崎県環境情報センター

環境学習なら宮崎県環境情報センターへ



宮崎県立図書館1Fにある宮崎県環境情報センターでは、環境に関する資料の閲覧ができるほか、環境教材の貸出や環境保全アドバイザーの派遣、リサイクル工作などの環境講座や出前研修、次世代エネルギーパークの見学受付なども行っています。

利用時間	9時~19時
休館日	月曜日(祝日の場合、翌日以降の最初の平日)、年末年始、図書館整理及び特別整理期間
住所	〒880-0031 宮崎県宮崎市船塚 3-210-1 宮崎県立図書館1F TEL0985-23-0322 FAX0985-26-4720
E-mail	kankyojyoho@coral.ocn.ne.jp
HP	http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/center/

「ecoみやざき」に関するご意見・ご感想をお聞かせください

[発行・お問い合わせ先]

宮崎県環境森林部 環境森林課

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号
TEL.0985-26-7084 FAX.0985-26-7311

環境みやざき推進協議会

(事務局:公益財団法人宮崎県環境科学協会内)
〒880-0911 宮崎市大字田吉 6258-20
TEL.0985-51-2077 FAX.0985-51-2086



みやざきの環境ホームページアドレス <http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/>

